

令和8年度 施政方針(概要版)



人と人がつながり 幸せが循環するまち

～対話で拓く朝来市の未来～



令和8年2月

朝来市長 藤岡 勇

①「やりたい」につながる多様な学びで、未来をつくる「人」を育む

子どもから大人まで様々な学びの場をつくることにより、市民一人一人のシビックプライドや主体性を育みます。また、多様な価値観・考え方等を互いに認め合うことで、まちを楽しくする自分らしい生き生きした活動（経済活動含む）をつくる人材が育まれるまちを目指します。

実施してきたこと

- 子育て世帯の経済的負担を軽減するため小中学校給食費の完全無償化
- 中学生国際交流支援事業の派遣対象の枠を市内在住の私立中学生も対象
- 不登校児童生徒支援員の配置拡充及びちゃすりん食堂の実施
- 屋根付運動施設の事業内容の検討
- 中学校部活動の地域展開の検討
- 和田山ジュピターホールの改修
- 全ての人の人権が尊重される社会を目指した教育・啓発の推進 など



スポーツを通じて市民の「やってみよう」という意欲を喚起する屋根付運動施設

令和8年度の主な事業

- スクールバス等による遠距離通学基準を見直し児童の登下校の安全を確保
- 全ての小中学校に校内サポートルームを設置
- 中学生国際交流支援事業の派遣期間の延長と派遣人数の拡充
- 中学校部活動の地域展開の推進
- 新生野庁舎における図書館の整備
- 屋根付運動施設の整備
- 女性が活躍できる地域・職場づくりに向けたキックオフセミナーの開催
- 全ての人の人権が尊重される社会を目指した教育・啓発の推進 など



こどもが安心して学校に通える環境を

②人と自然が共生しながら地域で循環する産業を確立する

人の暮らしや営みとともにある自然との共生を図りながら、朝来市が持つ資源・魅力と市外の活力をつなげ、時代にあわせて進化し、内発的な経済力を高め、地域で循環する産業が確立されたまちを目指します。

実施してきたこと

- 全国ねぎサミット2025inあさごを本市で開催し、岩津ねぎを全国に情報発信
- 市内農業者の負担を軽減するためラジコン草刈り機を無償貸与
- 物価高騰による農家の生産意欲減退を防ぐため水稻苗代、肥料等資材代を補助
- 新たな産業団地造成の検討
- 事業者の店舗等の起業やリニューアルに係る費用を補助
- 養父市との協調による新たなプラスチックごみの分別収集への取り組みなど



スマート農業で身体的負担の軽減と作業効率をアップ

令和8年度の主な事業

- 市内雇用の確保と若年層の定着を図るため奨学金返済支援制度（個人向け）の創設
- 企業の設備投資の受け皿となる新たな産業団地の造成
- 歴史・観光の魅力を掘り起こすNHK大河ドラマと連動したトークイベントの実施
- 岩津ねぎブランドの推進を図るため全国ねぎサミットや関西ねぎフェスへの参加
- スマート農業に資する農業機械等の購入費用の一部を補助
- 生物多様性による持続可能な地域づくりに向けた朝来市生物多様性地域戦略の策定
- 自然環境保全センターを整備しオオサンショウウオを中心とした環境教育の推進
- 文化財保存活用地域計画策定に向けた悉皆調査や地域住民との座談会の開催 など



関係人口の増加を見込むわが国屈指の自然環境保全センター（イメージ）

③多様なつながり・交流を育み、地域力をより高める

人と人のつながり・交流を育むことで様々な活動につなげ、多様な人が参画する地域コミュニティの充実を図るとともに、移住定住の推進や関係人口の創出等の新たな力により、地域力がさらに高まっているまちを目指します。

実施してきたこと

- 地域自治協議会の財政支援の拡充と人的支援制度の創設
- 新たな地域協働の姿についての検討
- まちの仲間として地域を共に支える地域おこし協力隊の配置
- 結婚新生活を応援するための補助や未婚男女の出会いの場づくりとなる大規模婚活イベントの実施
- 移住された方と農業等のマッチングを図る住みたい田舎移住促進プロジェクトの推進
- 外国人市民が、地域社会の一員として共に暮らす多文化共生社会を推進
- 朝来市を対外的にPRするため市制20周年を機とした各種事業の実施など



次世代の地域を担う若手農業者

令和8年度の主な事業

- 市民の幅広い交流と地域参加を促す地域情報掲示板ためまっぷあさごを運用
- 市民の地域行事等への参加を促す地域ポイント事業の実施
- 若者の移住定住の促進とUターン・孫ターン制度の充実
- 地域おこし協力隊のインターン受け入れの実施
- 未婚男女の結婚を考えるきっかけとなるセミナーや出会いの場の提供
- 朝来市多文化共生推進基本方針の策定など



新たな出会いから始まる朝来市の未来
(大規模婚活イベント)

④誰もが居場所や役割を持ち、健幸で心豊かな暮らしを実感できる

世代等を超えて、市民一人一人が地域とつながり、誰もが地域の中で居場所や役割を持つことで、地域の人々に囲まれ安心した子育てや暮らしが実現できるとともに、市民一人一人が生きがいを感じながら、健幸で心豊かな暮らしを実現できるまちを目指します。

実施してきたこと

- ・朝来市こども家庭センターの周知イベントあさごっこフェスタを開催
- ・朝来市こども計画策定に向けた対話等を実施
- ・産婦健康診査費を全額助成
- ・新生児聴覚検査費を全額助成
- ・子どもの経鼻インフルエンザ予防接種費用を助成し心理的・身体的負担を軽減
- ・带状疱疹予防接種に係る定期接種者のさらなる自己負担の軽減と任意接種者へ予防接種費用助成を継続
- ・70歳以上の方に加え国保加入者の5つのがん検診に係る受診料を無料
- ・高齢者等の紙おむつの廃棄に係る費用負担を軽減するためごみ袋を支給
- ・民生委員・児童委員等の処遇の改善 など



子どもたちが健やかで幸せに成長できる
「こどもまんなか社会」の実現を

令和8年度の主な事業

- ・子どもが安心して過ごすことのできるこどもの居場所づくりの推進
- ・こどもの特性を早期に把握し、必要な支援につなげる5歳児健診の実施
- ・特定不妊治療を受けられる人へ交通費の助成
- ・こどもまんなか社会を推進する朝来市こども計画の策定
- ・子育て世代の経済的負担を軽減するため保育料を完全無償化
- ・保護者の就労要件を問わず月16時間（国基準10時間）を上限に受け入れるこども誰でも通園制度の実施
- ・地域の支援が必要な人を多分野が連携し支援につなげる包括的な支援体制の構築
- ・聞こえにくい人への配慮として、市役所に軟骨伝導イヤホンを設置
- ・市民の健康づくりへの意識を醸成する健幸づくりポイント事業をアプリ化 など

令和8年4月から開始予定

日々の活動が地域ポイントに！

ポイント管理は

『あさGO！
健幸アプリ』で！！

皆さまの活動に応じたポイント管理そして健康管理が可能に

アプリ利用対象者：18歳以上の朝来市内に在住、在勤、在学する方

地域ポイントとは？

地域ポイントは、市民の皆さんの活動や参加を応援し、地域のにぎわいや健康づくりにつなげる仕組みです。健康づくりポイントは地域ポイントの一部となります。

幅広い世代の運動の実践と習慣化など健康づくりをサポートする「あさGO！健幸アプリ」



⑤市民の暮らしを支える安全・安心な都市基盤を持続する

市民の暮らしを支える都市基盤の持続可能な維持管理・運営を図ります。また、地域防災力の強化や公共交通の確保等により、誰もが地域の中で安全・安心に暮らせるまちを目指します。

実施してきたこと

- ・デマンド型乗合交通あさGOの市内全域運行
- ・JR和田山駅ロータリー改修及びJR生野駅東口待合室改修の設計
- ・朝来医療センター周辺の土地利用について、魅力あるまちづくりを推進するため、土地利用の在り方を検討
- ・除雪機械オペレータを確保するため機械運転の資格取得費用等を補助
- ・住むことの安全を確保するためがけ地近接住宅の移転及び耐震化を促す補助制度を拡充
- ・運転免許証を返納した高齢者が購入するシニアカー等の購入費用を補助
- ・市民の防災意識向上を図るため防災用品購入費用の補助など



JR和田山駅ロータリーの改修で交通停滞を解消

令和8年度の主な事業

- ・親しまれる居場所となるJR生野駅東口待合室の改修
- ・3つの補助（家庭用防災用品・防犯対策・いのちを守る交通安全）で安全・安心を強化
- ・クマによる人身被害を未然に防ぐ対策の強化
- ・子育て世代等の暮らしやすさ向上を図るため定住促進住宅を改修
- ・ゼロカーボンシティの実現に向け電気自動車、太陽光発電設備等の導入費用の一部を補助
- ・公共交通の利便性向上を図るため路線バス及びあさGOにキャッシュレス決済を導入など



環境意識の醸成のため市が導入した電気自動車

⑥まちの動きや情報を戦略的につなぎ、効率的で健全な行財政運営を実現する

市民との対話を大切にするとともに、まちの動きや情報を市民と共有することで、市民自治のまちづくりをさらに推進します。また、持続可能で自律した自治体運営を推進するため、効率的で健全な行財政運営を図るとともに、市民とともにある、市民に信頼される職員・市役所を目指します。

実施してきたこと

- ・第3次総合計画の改訂
- ・庁内業務のデジタル化による効率化の推進
- ・書かない窓口サービス及びキャッシュレス決済サービスの提供
- ・証明書自動交付機を各支所に設置
- ・まちづくりフォーラム、ふれあい市長室、ふれあいトークなど対話を基調とした広聴事業の実施
- ・公債費の繰上償還による将来を見据えた適切な財政運営
- ・ふるさと納税制度の活用による地域資源の販路拡大と自主財源の確保 など



これからの朝来市を担うこども達（中学生）との意見交換の場「ふれあいトーク」

令和8年度の主な事業

- ・行政・学び・交流のハブとなる生野庁舎の整備
- ・文書管理・財務会計等のデジタル化による業務改善
- ・公共施設予約システムの利便性向上とスマホ教室による情報格差解消
- ・あさご未来会議、まちづくりフォーラム、ふれあい市長室など対話による開かれた広聴事業の実施
- ・ふるさと納税のさらなる増収を見込んだ積極的な情報発信
- ・世界遺産を有する佐渡市との連携による地域活性化の推進 など



まちの交流拠点としての機能性と利便性を備えた生野庁舎（イメージ）